

中国語における極性成分～还是と或者

伊藤さとみ

1. 極性成分(polarity item)とは

ある種の成分は、その環境によって異なる形態を持つ。例えば英語では、some は肯定文に使われ、否定文では any に変わる。

(1) I see something.

(2) I don't see anything.

中国語には、厳密な意味での極性成分はないが、その現れる環境によって異なる意味を表す、という点で疑問詞が極性成分的であると指摘されてきた。¹

(3) 你看见什么?

(4) 他看见什么了。

中国語の疑問詞は、疑問文では疑問の焦点を表し、陳述文では不定の指示物を指す。英語の some/any の交代のように、肯定文／否定文の違いに支配されるわけではないが、疑問文／陳述文の違いが意味の違いを引き起こしている。

疑問詞は同じ形態のものが異なる意味を持つ場合だが、これに対し、意味はほぼ同じだが、疑問文／陳述文によって異なる形態を持つものがある。それは、選択の意味を表す接続詞「还是」と「或者」である。本稿ではこの2つの接続詞を取り上げ、両者の分布上の違い、意味の違いを述べ、最後に両者の使い分けが中和される現象について論じる。なお、「或者」の異型としては、「或」「或是」があるが、すべてまとめて「或者」と呼ぶことにする。

2. 「还是」と「或者」

2.1. 「还是」と「或者」の分布

中国語には、選択の意味をあらわす接続詞に、「还是」と「或者」の二つがある。どちらも、二つ以上の事柄を並列し、そのうちのいずれかが正しいことを述べる接続詞である。だが、この二つは、使われる環境が異なっている。一般に、「还是」は疑問文や複文の節（「无论」の導く節）内に、「或者」は陳述文に使われる。この点については、邢福义 2001 ほか、いくつかの文法書で既に記載がある。以下、疑問文と陳述文における使い分けの例を挙げる。複文の節内に現れる時には、両者の対立が中和することがあるので、次の節で論じる。

(5) 你瞧瞧，到底我是活着，还是已经死掉了？（見てごらん、私はいったい生きているのか、既に死んでしまったのか。）（金近《狐狸打猎人》）

(6) 日本兵是好人，还是坏人？（日本兵はよい人ですか、悪い人ですか。）（陈模《失去祖国的孩子》）

¹ Cheng1991、Li1992、Lin1996 など参照。

(7) 还在那儿布置几块玲珑的石头，或者种些花草：(さらにそこにいくつかの精緻な石を置いたり、草花を植えたりしている。)(叶圣陶《苏州园林》)

(8) 然后，就把梦画下来，或者做成泥塑。(それから、夢を絵に描いたり、粘土で作ったりした。)(白冰《梦的雕塑》)

ただし、邵敬敏 1996、徐阳春 2002 では、「或者」が疑問文に用いられた例が挙がっている。

(9) 难道可以当着外人的面儿责备丈夫，或者演戏？(まさか他の人の前で夫を責めたり、芝居をしたりすることができようか。)(邵敬敏 1996)

(10) 你们是不是正在举行营火晚会，或者化装舞会？(君たちはキャンプファイアか、仮装大会をしているのかね。)(徐阳春 2002)

(11) 一个女孩子，怎么不喜欢逛街吃零食，或者看看言情小说呢？(女の子が、どうして町をぶらついてお菓子を食ったり、恋愛小説を読んだりするのが嫌いなんだい。)(李志伟《与星星有约》)

(12) 又时时停语侧耳，惶惶地听外边有没有枪声或人众的喧哗。(また時々言葉を止めて聞き耳を立て、びくびく外に銃声や人の声がしないか聞いた。)(叶圣陶《潘先生在难中》)

これらの例では、反語・疑問を表す表現「难道」「是不是」「怎么」「有没有」が現れている。他に疑問を表す表現を伴わなくても疑問文を形成できる「还是」とは、この点において異なっている。つまり、「或者」自身には、「疑問文」を形成する力はなく、疑問文としての力は他から得ていると言える。また、「还是」を使った疑問文では、提示された2つ以上の事柄のどれが正しいかを尋ねることに表現の中心があるが、「或者」が現れた疑問文では、その文全体の真偽や疑問詞に該当するものが尋ねたいことの中心にある。

2.2. 「还是」と「或者」の意味

以上の分布の違いから、「还是」には選択の意味の他、疑問の意味も含まれていると考えられる。一方「或者」は選択の意味だけである。

(13) a. 「还是」： $[P \vee Q]?$ (命題から真理値への関数)

b. 「或者」： $P \vee Q$ (命題)

陳述文が命題であるすれば、疑問文は、命題から真理値への関数と言える。² つまり、陳述文を発する話者は、その命題の真偽を知っているが、疑問文を発する話者は、当該命題が真か偽かを知らないということである。

3. 「还是」と「或者」の中和

疑問文と陳述文について見ると、「还是」と「或者」は相補分布をなしているように見える。しかし、以下に述べる環境において、両者がどちらでも用いられることがある。その環境とは、否定を含む動詞の節目的語の中と「无论」の導く節の中である。

² Karttunen1977 参照。

3.1. 否定を含む動詞の節目的語

否定を含む動詞の節目的語とは、「不V～」の「～」部分にP\VQが目的語として現れたものを指す。多くは、次のように「不知」（分からない）の目的語であることが多い。この環境においては、「还是」も「或者」も使われる。³

- (14) 第三天，第四天……没完没了地打下去，也不知是武松打虎还是虎打武松，武松怎么也打不死老虎，老虎怎么也不高兴死。（三日目、四日目……ずっと戦い続け、武松が勝つのか虎が勝つのかも知れなかった。武松はどうしても虎を殺すことができず、虎もどうしてもやすやすと死のうとはしなかった。）（任溶溶《“没头脑”和“不高兴”》）
- (15) 不知是怕自己失了勇气还是怕那女人失了勇气。（自分が勇気を失うのが怖いのか、その女性が勇気を失うのが怖いのか、分からなかった。）（毕淑敏《预约死亡》）
- (16) 我甚至不知道考试前一定要少喝水或者干脆不喝水，否则考到一半可能要小便。（わたしは、試験途中にトイレに行きたくなるから、試験前には水を少なめに飲むか、いっそ水を飲まないべきだとさえ知らなかった。）（梅子涵《林东的故事》）
- (17) 跑调大王并不在乎别人怎么看他，或者怎么称呼他。（音痴大王は他人が彼をどう見ているか、またはどう呼んでいるかを気にしなかった。）（李志伟《跑调大王》）

また、否定を含む動詞の節目的語では、「还是」と「或者」が同時に使われる場合もある。

- (18) 这条胡同口有几张台球桌，天天都有一些小伙子和半大孩子围着打台球，马锐和他的几个小伙子也去凑热闹，站在一边看，有几个正在轮流玩台球的年轻人不知是因为输了还是看马锐他们几个不顺眼或者就是想抖抖威风找点乐子，反正是有意寻衅吧，叫马锐他们“滚开”。（何人かの、順番にビリヤードを楽しんでいた若者が、負けたからなのか、馬銳たち何人かが気に入らなかったのか、単に威張って楽しもうと思ったのか、どのみち言いがかりであろうが、馬銳たちに「どけ」と言った。）（王朔《我是你爸爸》）

3.2. 「无论」の導く節

「无论」の導く節の中とは、「无论」「不论」「不管」などの接続詞が導く従属節である。これらの接続詞は、従来、「無条件文」と呼ばれる一種の条件文を作る。ただの条件文と異なり、この接続詞の導く節が表す事態のどれが成立しても、主節の内容が必ず成立するという意味を表す。この接続詞の導く節において、「还是」も「或者」も使われる。

- (19) 这些水鸟无论在水面冰面还是礁石上过夜，脚蹼都有被冻结的危险。（これらの水鳥は、水の上や氷の上や暗礁の上で夜を過ごすと、足が凍りつく危険があった。）（李子玉《野鸭麻胸脯》）

³ 他に「不仅」の後にも、「还是」と「或者」が見られるが、「不仅」に呼応する副詞として「さらに」という意味を表す「还」であり、選択の意味を表す「还是」ではないと思われる。

- (20) 不管你是真的灰耳朵, 还是假的灰耳朵, 反正你跟老鼠换了耳朵, 你就不再是兔子了。(君が本当の灰色耳(兎の名前)だろうと偽の灰色耳だろうと、どのみち君は鼠と耳を取り替えたのだから、もう兎ではない。)(郭楚海《灰耳朵的故事》)
- (21) 如果此刻她也在这间小屋里面, 无论是蹲在灶火旁, 坐在炕沿上, 或躺在被垛上, 都只会使这温暖起来的小泥屋增添更多的温暖和亲切。(もしこのとき彼女がこの小屋にいたら、かまどのそばにるのであれ、オンドルのへりに座っているのであれ、布団に横になっているのであれ、この暖かくなった小屋にいつその暖かさと親密さを添えただけだろう。)(张承志《黑骏马》)
- (22) 他想等少平高中毕业, 不论弟弟能找个临时性工作, 或者回来劳动, 他就多了一个帮手, 到那时再考虑自己的婚姻也不迟。(彼は少平が高校を卒業するのを待とうと思った。弟が臨時の仕事を見つけるのであれ、帰ってきて働くのであれ、手が一人増えることになるので、そのときに自分の結婚を考えても遅くはない。)(路远《平凡的世界》)
- また、「无论」の導く節内では、「还是」と「或者」が同時に使われる場合もある。
- (23) 无论是我们的文学, 还是《北京文学》这份杂志, 或是我打算写的那些小说, 都会活泼起来, 兴奋起来, 成长起来。(我々の文学も、『北京文学』という雑誌も、私が書こうとしていた小説も、みな生き生きと活気づき、成長し始めた。)(张承志《又是春天》)

3.3. 中和をもたらす因子

さて、これらの環境の共通点はなんだろうか。一つには、複文の一部であるという共通点があるが、複文の一部であれば、必ず中和が起こるわけではない。以下、否定を含まない動詞の節目的語の例と、仮定節と譲歩節の例を挙げる。

- (24) 不论怎样, 这个逛鬼总还有点人味, 每年春节回来, 也知道给两个孩子买身衣裳, {或者/*还是}给他们带点外面的新鲜玩艺。(どうであれ、この遊び人はやはり人間らしいところがあり、毎年春節には帰って来て、二人の子供に服を買ったり、かれらに外の珍しいおもちゃを持って帰ったりした。)(路远《平凡的世界》)
- (25) 如果鸟儿飞在天上, {或者/*还是}人们走在这条路上, 都能照出一个好看的影子来。(鳥が空を飛んでも、人がこの道を歩いても、(我々が歩いて磨き上げた水晶の道に)きれいに姿が映るだろう。)(刘真《我和小荣》)
- (26) 即使她回到美国, {或者/?还是}到其他地方, 必然也脱离不了这一片天地。(彼女がアメリカに帰っても、他の場所に行っても、この世界を逃れられないのだ。)(朱邦复《巴西狂欢节》)
- (27) 虽然我努力加入 {或者/*还是}停在表面, 摆脱外人的遗恨是那么难。(私が参加しようと努力しても浅い付き合いに留めようとしても、部外者の無念さを脱却するのは難しかった。)

従って、複文の一部ということは、「还是」と「或者」の中和に関係がない。

もう一つの共通点は、文法的／語彙的の区別はあるものの、ともに否定の作用域内にあ

る点である。これが中和の原因のようである。

3.4. 否定の作用

「还是」と「或者」の対立は、先に見たように、疑問文と陳述文の対立である。それぞれ、疑問文は命題から真理値への関数、陳述文は命題と考えられることは先に述べた。では、否定の作用域で、この二つの違いが中和されるのはなぜだろうか。収集した例文を見る限り、「还是」と「或者」の対立を中和する働きをする動詞句は、「不知」「不在乎」「不关心」などの心理状態を表す動詞の否定形である。例えば、「不知」がある節を目的語に取るとき、その節で表された命題を知らない場合と、その命題が真か偽か知らない場合の両方が考えられる。従って、前者の場合に、選択の接続詞は「或者」が使われ、後者の場合には、「还是」が選択されるのではないかと思われる。今のところ、この違いが明らかでない例を挙げることはできないが、わずかなニュアンスの違いに反映されているのかもしれない。「无论」についても、「还是」と「或者」で同じような意味の違いがあると思われる。

3.5. 否定の特性

否定は次のような下方含意環境を作る典型的な要素である。

(28) 下方含意環境 (Downward Entailing Context)

A が B を含意するとき、 $f(B)$ が $f(A)$ を含意するならば、 f は下方含意操作子である。

例：「犬」→「動物」のとき、「動物を飼っていない」→「犬を飼っていない」

ある個体が「犬」ならば、この個体は「動物」である。この含意関係は、肯定文では保たれる。「犬を飼っている」は「動物を飼っている」ことを含意する。ところが、否定文では、含意関係が反対になる。「犬を飼っていない」ことが成立しても、「動物を飼っていない」ことが成立するとは限らない。しかし、「動物を飼っていない」が成立するなら、「犬を飼っていない」ことが必ず成立する。「動物を飼っていない」は「犬を飼っていない」を含意するのである。このように、もともとの含意関係を反対にするのが下方含意環境である。否定は、この下方含意環境を作る典型的な因子である。

それでは、この下方含意環境下にある「还是」と「或者」の意味について考察しよう。「P または Q」という選択関係を表す命題と、「P」「Q」などそれを構成する命題との間には、後者が前者を含意する関係がある。

(29) a. 武松打蒋忠 ∨ 林冲打陆谦

(武松が蒋忠に勝つか、林冲が陸謙に勝つ)

b. 武松打蒋忠

(武松が蒋忠に勝つ)

bはaを含意する。⁴ つまり、bが真のときには、aは必ず真である。逆に、aが真であっても、

⁴ $P \rightarrow (P \vee Q)$ 。Pが真ならば、 $P \vee Q$ は必ず真である。自然言語では、語用論的にPが真であ

林冲が陸謙に勝っていれば、bは偽になる。従って、aはbを含意しない。

この含意関係は、「不知」の目的語に入ると、反転するはずである。

(30) a. 不知是武松打蒋忠还是林冲打陆谦

(武松が蒋忠に勝つか、林冲が陸謙に勝つか知らない。)

b. 不知是武松打蒋忠

(武松が蒋忠に勝つか知らない。)

aはbを含意する。武松と蒋忠、林冲と陸謙のどちらが勝つのか分からなければ、武松が勝つとは当然言えない。一方、武松が勝つか知らなくても、林冲が陸謙に勝つことを知っておれば、bは偽になる。従って、bはaを含意しない。「无论」についても同様のことが成り立つ。

(31) a. 蹲在灶火旁∨坐在炕沿上∨躺在被垛上

(かまどのそばにいるか、オンドルのへりに座るか、布団に横になる)

b. 蹲在灶火旁∨坐在炕沿上

(かまどのそばにいるか、オンドルのへりに座る)

(32) a. 无论是蹲在灶火旁，坐在炕沿上，或躺在被垛上，都会使这小泥屋增添更多的温暖。

(かまどのそばにいるのであれ、オンドルのへりに座っているのであれ、布団に横になっているのであれ、この小屋にいつもの暖かさを添えたことだろう)

b. 无论是蹲在灶火旁，或坐在炕沿上，都会使这小泥屋增添更多的温暖。

(かまどのそばにいるのであれ、オンドルのへりに座っているのであれ、この小屋にいつもの暖かさを添えたことだろう)

このように、個々の命題と、それを組み合わせた選言命題の含意関係は、下方含意環境で反対になる。

4. 選択と並列の混乱

前節では、「还是」と「或者」の違いが中和される現象を見てきた。ここでは、さらに、並列を表す接続詞「和」がこれら選択を表す接続詞と混同される現象を見る。

4.1. 「和」の意味

「和」は疑問文、陳述文に関わらず用いられ、提示された2つ以上の事柄の両方が正しいことを表す。「或者」と同じく、疑問文に使われても、尋ねたいことの中にはならない。

(33) 小镇上，整天都是吵嘴、骂人和喊叫的声音，没有一会儿安宁。(村では、毎日言い争い、ののしり、わめく声がして、少しも安らかな時がなかった)(常瑞《老唱片》)

(34) 我和羊群往哪儿去呢？(私と羊の群れはどこへ行くのか。)(葛翠琳《野葡萄》)

従って、「和」の意味は次のようである。

ることが明らかなきに、わざわざPVQと言うことは会話の含意に反するが、意味的にはこの含意関係は依然として成り立つ。

(35) 和 : $P \wedge Q$ (命題)

4.2. 「无论」の導く節における「和」

ところが、次の例では、「无论」の導く節において、「和」が使われている。

(36) 无论吃和穿, 金秀都要比她强。(食べるのであれ、着るのであれ、金秀は彼女より勝っていないといけなかった。)(路远《平凡的世界》)

(37) 我早说不管是皇帝和讨饭花子, 谁都有个倒霉的时候, 偏偏肖家要倒霉的时候六小姐嫁去了。(皇帝だろうと、乞食だろうと、だれでもついてない時はあるもので、肖家があいにくついてないときに六姉は嫁に行ったんだ。)(苏童《民丰里》)

また、「还是」「或者」と並んで「和」が用いられることもある。

(38) 飞行于尘暴之上的鸟儿, 必须不断用泪水冲刷进入眼睛里的尘埃, 所以, 无论麻胸脯还是它的绿头鸭僚机, 或者其它野鸭和不断被超过的大雁, 眼睑处或多或少都留下了一道淡淡的泪泥圈痕。(麻胸脯も、彼のマガモ軍機も、その他のカモも、絶えず追い越されているガンも、目の周りには多かれ少なかれみな一筋の薄い涙と泥の輪の跡が残った。)(李子玉《野鸭麻胸脯》)

この現象は、一見、自然言語の非論理的側面を示しているようにも見える。⁵ 本稿では、「都」の持つ下方含意的特性から説明を試みる。

4.3. 「都」?

刘雪春 2003 は「或者」を論じた中で、この現象は主節に現れる副詞「都」の働きであると述べている。実際、「无论」のあるなしに限らず、「都」がある環境で、選択と並列が混同されることがある。

(39) 以前, 这只狗的器官移植到另一只狗身上, {或者/和} 这个人的器官移植到另一个人身上, 都不能持久。(以前は、この犬の内臓を別の犬の体に移植したり、この人の内臓を別の人の体に移植したりしても、長くは持たなかった。)(肖建亨《布克的奇遇》)

実際、収集例中、「无论」節に「和」を用いる例を調べると、1例以外のすべてが「都」と共起していた。⁶ 一般の文法書では、「无论」は「都」など総括を表す副詞と常に呼応して用いられているかのような記述が多いが、実際には、呼応する副詞が見つからない例が全例文のおよそ3分の1に及ぶ。これに対し、「和」を用いた例文で呼応する副詞が見つからない場合は、9例中1例しかないのである。よって、並列関係と選択関係の混同を招いているのは、「都」であると思われる。「都」も下方含意環境を作ることが知られている。

⁵ $((p \vee q) \rightarrow r)$ と $((p \wedge q) \rightarrow r)$ は同じ真理値を持たない。例えば、 $p=0$ 、 $q=1$ 、 $r=0$ のとき、左辺は0、右辺は1である。

⁶ その例外的一例とは、次の例である。我感到深深地对不起梧桐, 不管起因和原由, 结果是这个样子!(私は梧桐に心からすまないと思った。原因で理由であれ、結果はこんな有様なのだ!)(梧) この場合、「結果」という言葉が総括的な意味を表しており、「都」の代わりをしていると言えるだろう。

(40) a. 学生来了。

b. 女生来了。

(41) a. 学生都很聪明。

b. 女生都很聪明。

女子学生は、学生でもあるため、(40)ではbがaを含意する。これに対し、「都」を含む文では、含意関係が逆になる。「学生はみな賢い」と言えば、女子学生も賢いことになるが、「女子学生はみな賢い」と言ったとき、学生がみな賢いとは限らない。ところが、「和」の表す並列関係は、この種の含意関係の逆転の影響を受けないようである。

(42) a. 女生和男生来了。

b. 女生来了。

(43) a. 女生和男生都很聪明。

b. 女生都很聪明。

女子学生と男子学生が来たのであれば、女子学生が来たことが含意される。そして、女子学生と男子学生がみな賢いのであれば、女子学生がみな賢いことが含意される。

選択の接続詞は下方含意環境において、その影響を受けて、含意関係を逆転させてしまうが、並列の接続詞は、その影響を受けない。よって、下方含意環境においては、並列の接続詞も、選択の接続詞も、同じ含意関係を意味することになる。これが、本来違うものだった2つの接続詞が混同して用いられる原因だと思われる。

4.4. 参考～他の環境における選択と並列

「即使」「如果」「因为」「虽然」の4つの接続詞が導く環境において、「或者」も「和」も用いられる。ただし、両者は意味的な区別を保っているようである。例えば、次の例では、提示される二つの選択肢が、意味的に相容れない場合は「或者」を用い、意味的に相容れる場合は「和」を使っている。

(44) 即使她回到美国, {或者/*和} 到其他的地方, 必然也脱离不了这一片天地。(彼女がアメリカに帰っても、他の場所に行っても、この世界を逃れられないのだ。)(朱邦复《巴西狂欢节》)

(45) 其实, 即使它们看到和意识到了危险, 在这鱼群相拥前进的情况下, 也都只能前进而无法后退。(实际、彼らが危険を見て察知したとしても、この魚群が押し合いへし合い前進する状況下では、前に進むだけで、退くことができないのだ。)(李子玉《野鸭麻胸脯》)

次の例でも、意味的な区別が保たれている。

(46) 如果鸟儿飞在天上, {或者/*和} 人们走在这条路上, 都能照出一个好看的影子来。(鳥が空を飛んでも、人がこの道を歩いても、(我々が歩いて磨き上げた水晶の道に)きれいに姿が映るだろう。)(刘真《我和小荣》)

(47) 我想, 如果要猫和老鼠来做这手术, 它们未必会比我做得更好些。(もし猫君とねずみ君

がこの手術をしても、彼らが私より上手だとは限らない、と私は思った。) (汤素兰《紧急救护》)

「或者」は、「鳥が空を飛ぶ」ことと「人間がこの道を歩く」ことのどちらか一方でも成立したとき、「姿が映る」という主節の内容も成り立つことを表す。一方、「和」の場合は「猫」と「鼠」の両者が協力して手術したとき、「私よりうまくない」という事態が成立することを表す。つまり、選択関係と並列関係の区別が保たれている。

次の「虽然」と「因为」においては、意味の区別もはっきりしないようである。この場合は、どのような要因が並列接続詞と選択接続詞の混同を招いているのか、さらに考察する必要がある。

(48) 虽然我努力加入{或者/和}停在表面, 摆脱外人的遗恨是那么难。(私が参加しようと努力しても浅い付き合いに留めようとしても、部外者の無念さを脱却するのは難しかった。)

(49) 第二年秋天, 因为身体不好{*或者/和}工作的需要, 她调到了村里的民办小学任教, 而小苏也调到公社工作了。(二年目の秋、体の調子がよくないのと仕事の必要から、彼女は村の村営小学校に赴任した。小蘇も公社に転任した。)(卢新华《伤痕》)

(50) 他们的理由是, 正因为他们身体或精神上关闭一扇世俗的大门, 同时, 神灵也为他们开启了另一片心智的天空。(彼らの理由は、彼らが身体上も精神上も世俗的な門を閉じており、同時に、神も彼らのために心の智慧を開いているからだと言う。)(杜鸿《一个白痴统治的村庄》)

<参考文献>

Li, Y.-A. A. 1992. "Indefinite Wh in Madarin Chinese." *Journal of East Asian Linguistics* 1, 125-155.

Cheng, L. 1991. *The typology of wh-questions*, Ph.D. Dissertation, MIT, Cambridge.

Lin, J.-W. 1996

Karttunen, L. 1977. "Syntax and semantics of questions." *Linguistics and Pholosophy* 1, 3-44.

刘雪春 2003. 『实用汉语逻辑』。合肥:安徽教育出版社。

吕叔湘 1980. 『现代汉语八百词』。北京:商务印书馆。

邵敬敏 1996. 『现代汉语疑问句研究』。上海:华东师范大学出版社

邢福义 2001 『汉语复句研究』。北京:商务印书馆。

徐阳春 2002. 『现代汉语复句句式研究』。北京:中国社会科学出版社。

张文熊 1980. 「怎样分析复句中各分句间的关系」。『逻辑与语言研究』1: 39-85 頁。